

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表：2023年3月31日

事業所名： 児童発達支援・放課後等デイサービスekubo

	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		いいえ			
環境・体制整備	1 子ども達が過ごすために十分なスペースが確保されている	83%	17%	利用児の活動の状況により、柔軟にベッド等の備品の位置を変えるなどの対応をして	安全に過ごしてもらえるように、備品の整理整頓や、環境整備を継続する
	2 スタッフの数は十分で専門性のあるケアを提供している	92%	8%	介護福祉士の有資格者には特定行為研修を受講を推奨している	ケアの充実を図るため、看護師の増員(新規採用予定)
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	92%	8%		利用児それぞれの理解度、特性に合わせて個別的に対応を保護者や関係各所と連携しつつ、より効果的な方法、必要な設備等も検討していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	92%	8%	食べこぼしの多い児を介助する際にはビニールシートなどを床に敷くなどの対応をしている	食べこぼし等で汚れが目立つ箇所もあり、食事の時などはラグは一時的に取り除き、掃除・環境整備がしやすい環境を整える。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	課題や改善項目が出てきたときは、可能な限り迅速に、多職種で(参加できる職員全員で)カンファレンスを実施→参加できない職員には、後ほど共有ツール(グループLINE)等を活用し、情報共有を図っている	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	課題や改善項目が出てきたときは、可能な限り迅速に、多職種で(参加できる職員全員で)カンファレンスを実施→参加できない職員には、後ほど共有ツール(グループLINE)等を活用し、情報共有を図っている	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	改善内容については、個別にお知らせするとともに、情報共有が必要な案件については、公式ライン等の共有ツールを用いて情報の周知徹底に努めている。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	自分たちで、気づいたことについてはすぐ改善するように取り組んでいる	第三者評価は受けていない
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容	100%	0%		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	67%	33%		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	67%	33%	不在の職員にも、情報共有をスムーズにするためにグループLINEを活用	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		職員の負担の少ない、かつ、支援内容がわかりやすい記録方法を適宜改善していった
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的なモニタリングの他にも、送迎時等に保護者の要望をきめ細かに聴き取るように努めている		
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%			
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%			

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図って	100%	0%		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	58%	42%		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	58%	42%		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	個別に対応	プログラム化されたものは提供できていないが個別には提供できているため継続とより良い支援方法を探っていく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		従来は正職員が説明を担当してきたが、保護者からの問い合わせに迅速に対応するため、非常勤職員が説明できるように研修その他で、対応力向上を図る
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得	100%	0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	機関紙の他にも、公式インスタグラム等のSNSの活用も積極的に行っている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%		
非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%		保護者へのマニュアルの存在の周知が不十分とのご意見をいただいたため、今後周知をするため各種ツール(SNSも含めた)を用い、情報発信をしていく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	毎月、実践に即した訓練を実施	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギー等の情報は、食事を準備する場所にもわかりやすく表示(目印のシール等の活用)	初回の聞き取りだけでなく、定期的にアレルギー等の情報更新がないか要確認
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		ヒヤリハット等の情報分析・解析が十分でない部分があるので、今後の課題

46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%		
○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。					